在学生の声

Voice

地域マネジメント研究科10期生
米国アリゾナ州立大学大学院GIS修士課程修了
(株)イナダ勤務

稲田 伊知郎
Ichiro Inada

自分の考えを持ちつつ、相手の主張を素直に聞き入れる心構えが必要。

Q. 香川大学ビジネススクールへ入学した動機と目的を教えてください。

A. 10年間の県外生活を経て地元香川に戻った時に、改めて香川の地域資源と課題を見つめ直す必要性を感じ、当ビジネススクールの修了生でもある兄の勧めもあり入学を決めました。地マネで学んだ事を活かし、ここでのご縁を大切にしながら、何らかの形で地元に貢献していきたいと思っています。

Q. これまでの学生生活の中で、特に印象的な授業やイベントは何でしょう。

A. 入学直後からわずか半年足らずで作り上げたシンポジウムはとても印象に残っています。今となっては素晴らしい仲間ですが、当初は顔も名前もうろ覚えの状態からのスタートで、まずはビジネススクールらしく名刺交換から始まりました。授業や飲み会で親睦を深めながら、夜遅くまで議論を交わしたり、休みを合わせてフィールドワークに出掛けたりした日々が今でも良い思い出となっています。本番で皆が一つになった時には大変感動を覚えました。

Q. これから入学を考えている方々へのアドバイスをお願いします。

A. 地マネでは、年齢もバックグラウンドも異なる仲間達と共に学びます。物事に対する価値観や考え方が違うのは当たり前のことです。自分の考えを持ちつつも、相手の主張を素直に聞き入れる心構えが必要だと思います。また、学校と仕事の両立はとても大変だと思いますが、体調管理に気をつけながら、ここでの貴重な時間を一生懸命楽しんで下さい。

Voice

地域マネジメント研究科10期生
慶應義塾大学総合政策学部総合政策学科卒業
高松市役所勤務

野﨑 真理子
Mariko Nozaki

地域を元気にするために何かしたい。それが見つかるはず。

市役所で数年間勤務し、良い意味でも悪い意味でも環境に慣れてしまっていたため、自分の価値観やものの見方を柔らかくしたいと思い、入学しました。地マネでは、毎年1年生が課題設定・企画・開催するシンポジウムがあり、そのパネリストとして、地元で活躍されている要職の方をお招きするのですが、その方々との事前打ち合わせでは、普段お伺いすることのできないようなお話もお訊きすることができ、地マネの学生ならではの、非常に印象的な経験ができたと感じています。

社会人を経験し、再び学生になることで、大学生時代には感じなかったことが感じられ、見えなかったものが見えてくるのがMBAの醍醐味だと思います。仕事との両立や時間のやりくりは簡単ではないかもしれませんが、個性豊かな仲間と共に机を並べ学びあうことで、自分の仕事ややりたいことを客観的に捉えなおすことができる、とても刺激的で貴重な空間です。地域を元気にするために、何かしたいけど、その「何か」がまだはっきり分からない…という人でも、ここに来れば、それが見つかるはずです！迷っている方も、まずは「入学」という行動を起こしてみてはいかがでしょうか。

仕事と勉学の両立

地域マネジメント研究科10期生
立命館大学文学部文学科卒業、香川県庁勤務

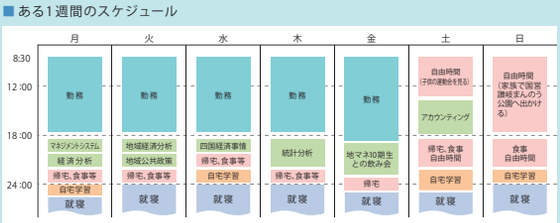
織田 浩幹
Hiroki Orita

今まで以上に、タイムマネジメントの意識が高まりました。

私は香川県庁で開発関係の許認可業務というまさにお役所的な仕事に従事しており、定期的な繁忙期などは比較的少ないですが、常にスケジュール感を持って仕事と講義に臨んでいます。職場では通学しているという理由で上司などに負担をかけることがないよう、業務の1年間のプランを立てて日々進捗管理を行っており、今まで以上にタイムマネジメントの意識が高まっています。

業務はできるだけ就業時間内に終わらせて、大学に通っていますが、入学当初は思考の切り替えに苦労しました。また、講義が終わると、レポート課題などがありますが、なるべくその日のうちに課題を終わらせるよう努力し、休日は少しでも家族との時間を過ごすよう心がけています。

■ある1週間のスケジュール

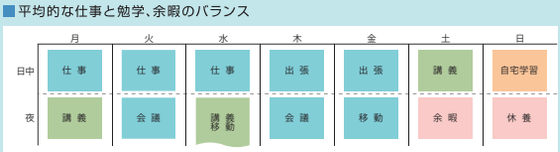


地域マネジメント研究科10期生
大阪医専作業療法学科卒業、プライマリケア(株)勤務

石浜 実花
Mika Ishihama

会社役員の立場にあり出張が多く、入学前は不安もありました。

私は出張が多く、入学前は学生生活と仕事を両立できるのか不安でした。予定に合わせて履修する科目を選択することや、効率よく時間が使えるように工夫しています。

私は会社役員の立場であり、入学前より「職場」ということを意識するようになりました。それは、組織行動論などリーダーシップに関してすぐに実践に役立つ科目を受講したお蔭です。職員は、作業療法や看護など知識が偏りがちな業界なので、他業界の出来事などを話すように心がけると興味深く聞いてもらえています。何より、職員への感謝の思いが、職場の信頼関係を高めていると実感しています。

■平均的な仕事と勉学、余暇のバランス